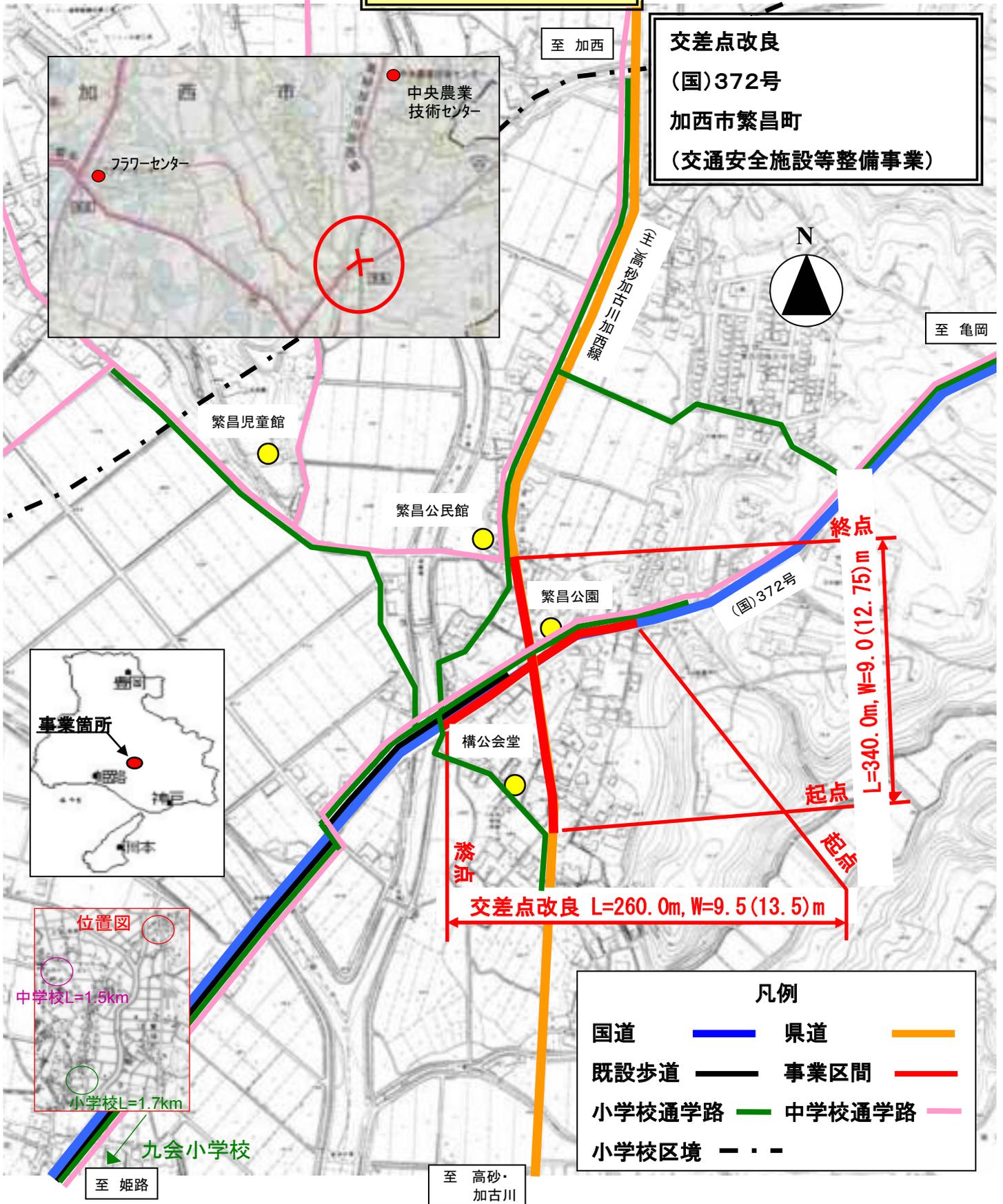


投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 藤井 良啓 (交通施設係長 中尾兼人)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 8 億円 (内用地補償費約 6.2億円)
		交通安全施設等整備事業(国) 372号	加西市繁昌町		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
加西市繁昌町				平成21年度	平成26年度
事業目的			事業内容		
渋滞交差点解消プログラムに基づき右折車線の設置による交差点の改良を行い、渋滞の解消を図る。 また、通学路に指定されていることから歩道設置も併せて行い歩行者の安全を確保し、地域の安全な暮らしを守る。			交差点改良 L = 600 m W = 9.5m (13.5) m : 国道 W = 9.0m (12.75) m : 県道 現況6.5(8.0)m 歩道なし : 国道 4.0(5.0)m 歩道なし : 県道 (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1)必要性 [周辺状況] [交通状況]		<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該交差点は、東西の国道372号と南北の主要地方道高砂加古川加西線が交差する箇所、沿道には人家が連たんし、近隣には加西市産業団地、物流センターが立地していることから、自動車交通量が多く、特に大型車の通行が多い。 ・ 九会小学校、加西中学校の通学路に指定されているが、歩道がなく危険な状況となっている。 ・ 自動車交通量が多く、大型車混入率も高い。 (国道：10,115台/日 25.5%、県道：6,558台/日 12.6%) ・ 全方向に右折車線がないため、朝夕には渋滞が発生している。 (平日朝、国道東行き580m・西行き200m、県道北行き280m) ・ 県道は幅員が狭いにもかかわらず、大型車が多いため、朝夕の時間帯に限らず危険な状況となっている。 ・ 姫路と社を結ぶバス路線となっており、歩道がないバス停となっている。 			
(2)有効性・効率性 [効果] [事業執行環境]		<ul style="list-style-type: none"> ・ 付加車線を設置することで、円滑な交通が確保される。 ・ 歩道設置により、歩行者の安全が確保される。 ・ 住民参加による交通安全総点検を実施し(H19.10.3)、歩道の必要性について地域の理解を得ている。 ・ 事業実施に向けた地元説明会を行い、車線の拡幅方向など事業計画について合意を得ており、円滑な事業執行環境が整っている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 ・ 車道部に排水性舗装を採用し、交通事故防止を図るとともに、沿道環境の改善を行う。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞交差点プログラムに位置づけられている交差点であり、円滑な交通確保のため早期の整備が必要である。 			

概要図



交差点改良
(国)372号
加西市繁昌町
(交通安全施設等整備事業)

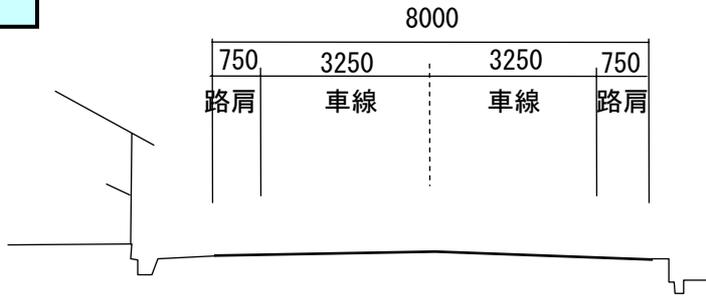


凡例	
国道	県道
既設歩道	事業区間
小学校通学路	中学校通学路
小学校区境	

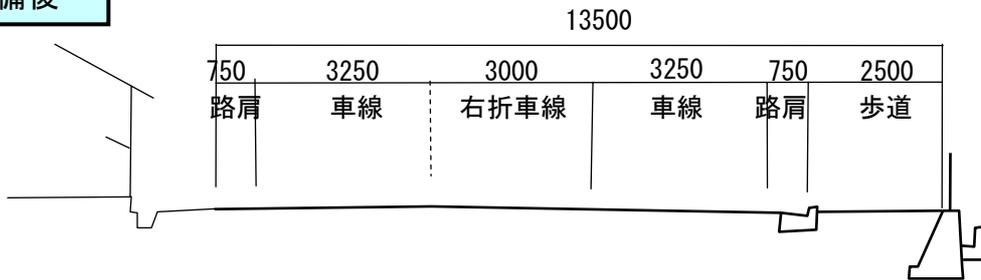
標準断面図

国道372号

整備前

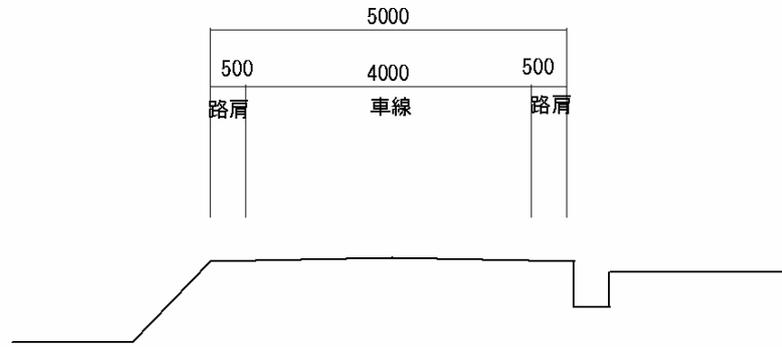


整備後

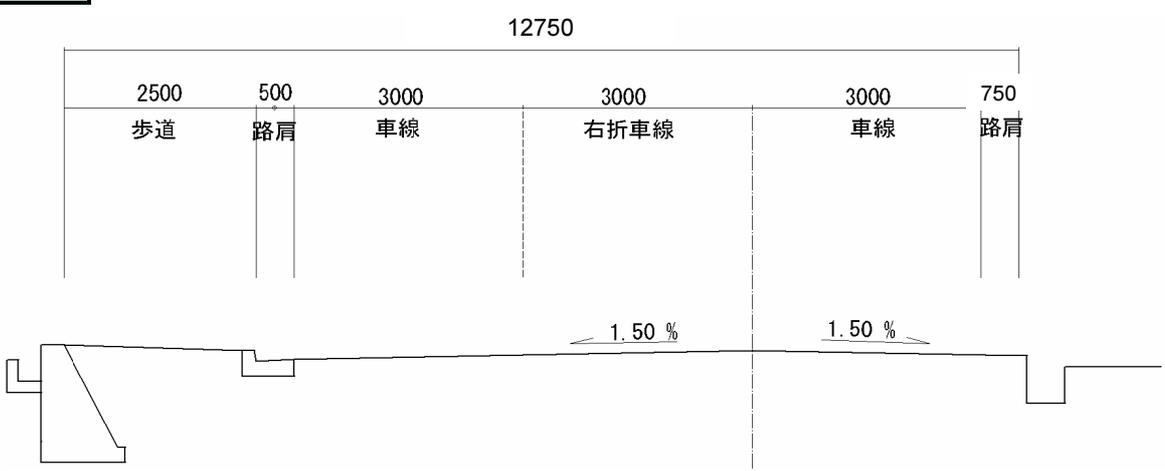


県道高砂加古川加西線

整備前



整備後



事業スケジュール

	工 程					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
測定						
用地補償						
工事						

計画平面図



渋滞状況写真:(国)372号

起点→終点



終点→起点



渋滞状況写真:(主)高砂加古川加西線

起点→終点



終点→起点

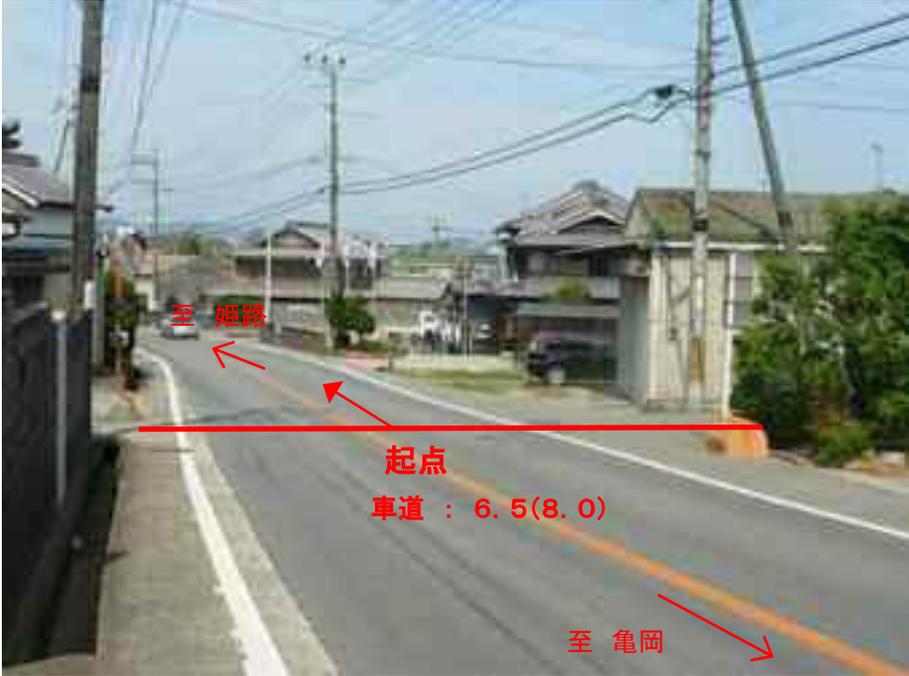


通学状況写真

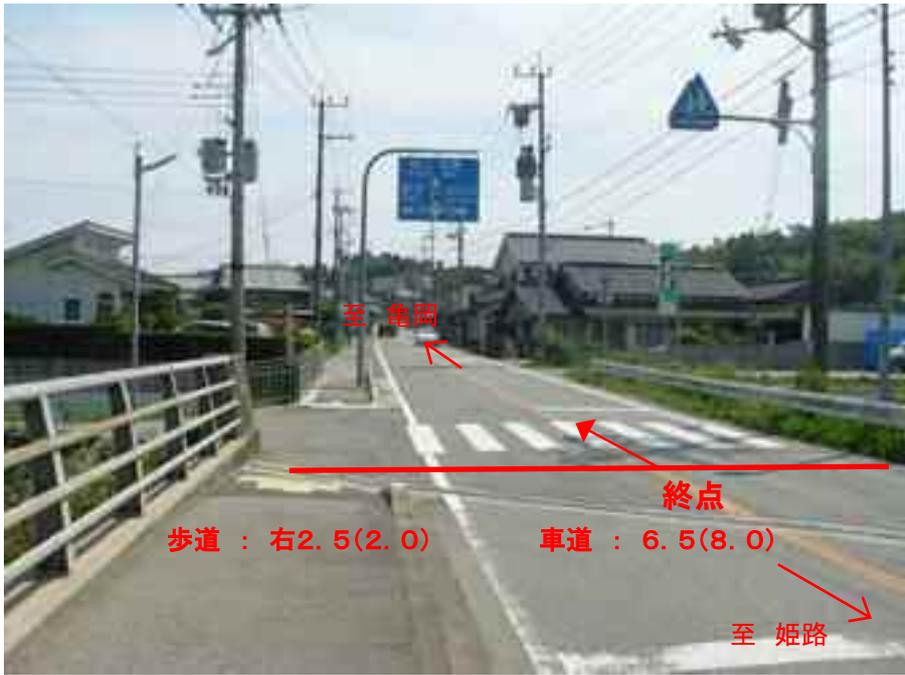


現況写真:(国)372号

起点→終点



終点→起点



現況写真：(主)高砂加古川加西線

起点→終点



終点→起点

